リーダーたちの本棚 VOL.65
Leader as Readers

企画・制作 朝日新聞社広告局　広告特集

L 【率いる】Leading
国境や世代を超えて能力を伸ばす教育を

公文教育研究会 代表取締役社長
角田秋生（つのだあきお）さん

1949年群馬県生まれ。大手印刷会社勤務を経て、79年東京公文数学研究会（現・日本公文教育研究会）入社。横浜事務局、社長室、チャイルド事業部長、事業開発室長を経て98年に書写教室を展開する公文エルアイエル代表取締役社長。2005年から現職。

1954年、一人の小学2年生の少年が、算数の答案用紙を家に持ち帰った。それを見た母親は、算数が得意なはずのわが子にしては芳しくない点数だと心配し、高校の数学教師である夫に相談。夫は、自主的に勉強しながら学習効果が上がる教材をと試行錯誤し、手書きの問題用紙をわが子に与え続けた。少年は、小学6年生の夏には微分・積分を学べるまでになり、その評判を聞いた近所の人に請われ自宅に算数教室を開設。58年、大阪数学研究会（現・公文教育研究会）を創設した。父親は公文式学習法の創始者・公文公（とおる）、少年は2代目社長・公文毅である。

「公文式は、一人の父親のわが子への愛情から始まった教育法です。創始者・公文公は、『自学自習』に加え、学年や年齢にとらわれず、自分の学力に合った教材を自分のペースで解く『ちょうどの学習』を提唱しました。やればできる、という自己肯定感を育むためです。『自学自習』と『ちょうどの学習』を続けることで、やがて学年を越え、学校で習っていない内容も解けるようになります。2学年、3学年分先へ進んでくると、新しいことに挑戦する意欲が芽生えてきます。こうした成果が世界で支持されています」

国内1万6,500教室、学習者数146万人、海外8,400教室、学習者数281万人（2014年3月現在）。学習者数は今や海外が国内を上回る。子どもの学力差や学習環境差を深刻な課題とする国も多い中、紙と鉛筆さえあれば年齢を問わず学習でき、高い基礎学力がつくとして評判を呼んでいる。

現地法人との意思疎通を徹底

海外展開において角田さんが心を砕いているのが、現地の社員や指導者たちとの理念共有だ。そのために3カ月に1度はグループ各社の社長が集まる場を設けている。

「教室運営の細かいやり方まで日本の常識を押し付けるのはよくありませんが、公文の基本的な思想が浸透していないと合理主義に傾きかねません。『この学年にはこの教材』などと、マニュアル化した方が指導する側は楽だからです。きめ細やかな個人別指導だからこそ、子どもたちの能力を最大限に伸ばすことができると伝え続けています」

自らも世界各地に足を運び、教室を訪問。東南アジアやアフリカなど開発途上国の子どもほど学習意欲が旺盛で、「彼らの明るい未来を約束しているのだという気概を持ち、どの国でも息の長い活動を続けていきたい」と力強く語る。

国境を越えた公文は、世代を超える活動も始めている。読み書き・計算を基本とする教材を、認知症の改善や進行抑制を目指す「学習療法」に活用。国内1,500以上の高齢者介護施設で導入され、効果が期待されている。

「学習者一人ひとりの可能性を信じ、秘められた才能の開花を応援したい。トップダウンではなく、現場の声に学び、大事な情報を循環させながら、人材育成に情熱を注いだ創始者の思いを継承していきたいと思います」

web 広告日報
■朝日新聞社広告局ウェブサイトでは、角田秋生さんが語るリーダー論を紹介しています。
http://adv.asahi.com
朝日新聞 広告　検索

R 【読む】Reading
年月を経て本の真価に気づく妙味

独自の教育メソッドをもとに世界48の国と地域で学習指導を行う公文教育研究会。多くの教室に書棚を設置し、推薦図書を貸し出すなど、読書推奨にも力を入れている。「創始者の公文公は、読解力や情緒を育む子どもたちの読書を重視していました。その思いを受け継いでいます」と、角田秋生さん。自身も読書家で、海外出張でも必ず本を携えるという。

海外出張時、帰国時に必ず読みたくなる本

公文は世界6エリアにグループ法人を有し、私は各社を統括する立場として少なくとも年間10回は海外に赴きます。その際に機上で読む本の定番は、司馬遼太郎さんの作品です。中でも『十六の話』は愛読書です。各章のテーマは様々で、司馬さんが開高健さんに向けた弔辞も収載しています。私は開高さんの作品も大好きなので、司馬さんの格調高い〝開高評〟にしびれました。教育に携わる者として感銘を受けたのは、「二十一世紀に生きる君たちへ」という章です。「私には二十一世紀のことなど、とても予測できない。ただ、私に言えることがある。それは、歴史から学んだ人間の生き方の基本的なことどもである」。司馬さんはこのように語りかけ、「いたわり」「他人の痛みを感じること」「やさしさ」を身につける訓練をすることで自己を確立せよ、それらはいつの時代になっても、人間が生きていくうえで欠かすことができない心構えである、と説きます。子どもたちにこうしたメッセージを贈れる人でありたいと、読むたびに思います。

日本に帰ってくると、必ず食べたくなるのが日本そば、必ず読みたくなるのが『武士道』です。公文の教室は地域密着型なので、海外の社員、指導者、生徒さんのほとんどが地元の方です。出張時には様々な文化、習慣、気質に接します。それらを尊重し学ぶ一方で、日本的な考え方の良さをたびたび意識します。小さなことでは、時間や決まりごとをきちんと守る、といったことです。帰国のたびに本書をめくり、義・勇・仁・礼など、日本人の美徳を再確認しています。

ビジネス書ではないが経営のヒントが満載

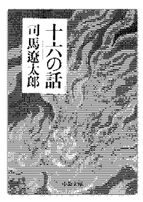
次は、野村克也さんの著書『ノムさんの目くばりのすすめ 捕手型人間で成功する方法』です。初読は30年前で、経営に携わってから何度となく読み返しています。ヒットを打つために投手のくせを徹底研究するなど、野村さんの仕事に対する飽くなき探究心に学ぶことが多く、「野村再生工場」と言われた人材育成術も参考になります。例えば、コントロールの悪い投手に、「四球をいくつ出してもかまわない。思い切って投げればいい。君のスピードなら、真ん中に入ってきても、そうそう打たれない」と、弱点をあえて矯正しません。一方で、野手にはその投手の特徴を事前に説明して心の準備をしてもらう。ともすると投手もチームもつまずくところが、そうはならない。絶妙につぼを押さえているのです。名選手たちの実名入りのエピソードを楽しみつつ、ビジネス書として愛読しています。

『失敗の本質 日本軍の組織論的研究』を読んだのは、やはり30年程前で、当時の役付きの社員に会社から配られた本です。ちょうど海外展開を進めた時期でした。本書に書かれていたような様々な失敗を読み返して、失敗の要因が意外なところにあること、またいくつかの要因が重なっていることを知り、自社の組織運営の在り方を顧みています。

最後は、『知性を磨く「スーパージェネラリスト」の時代』です。実は、本書は一度さっと通読した読み方に留まっています。「『知能』とは、『答えの有る問い』に対して早く正しい答えを見出す能力」。「『知性』とは、『答えの無い問い』に対して、その問いを、問い続ける能力」。この書き出しを読んでなるほどと思い、知性を磨くとはどういうことか、現業の中で答えを探し、結論が出てから、再度熟読をしようと思っています。「答えが見つかっていない課題を解決するための会議ができているか。想定した答えにたどり着くための会議をしてはいないか」などと。その一方で、「公文式は知性を磨く」ということを確信しています。自発的に勉強する力、新しいことに挑戦する力、あきらめない力を育む学習法だからです。こうしたことこそ、「答えの無い問い」を問い続ける能力ではないかと思っています。

私の選書基準は「面白そう」という興味からで、仕事のために買うことはめったにありません。ただ、初読から何年も経て「あの本の内容はこういうことだったのか」と現況に鑑みてハッとし、経験を重ねてそれに気づけたことに励まされ、再読して教訓を得ることがよくあります。そうした本を中心に紹介しました。（談）

角田秋生さんのおすすめ本棚

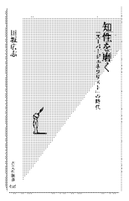


『十六の話』（中公文庫）
司馬遼太郎・著
「文学から見た日本歴史」「華厳をめぐる話」「幕末における近代思想」など16のテーマを収載。付録は著者と井筒俊彦氏の対談「二十世紀末の闇と光」。

『いま、拠って立つべき“日本の精神”武士道』（PHP文庫）
新渡戸稲造・著　岬龍一郎・訳
西洋化の中で日本人とは何かを問い、日本人の倫理観や道徳観を英文で著した新渡戸稲造。1899年の発刊当時、世界的に注目された『武士道』の現代語訳。

『ノムさんの目くばりのすすめ 捕手型人間で成功する方法』
（プレジデント社）野村克也・著
元プロ野球選手・監督の著者が、リーダー論、情報分析術、人材活用術などについて語る。稲尾和久、江夏豊など往年の名選手とのエピソードも満載。（品切重版未定）

『失敗の本質 日本軍の組織論的研究』
（中公文庫）戸部良一・寺本義也・鎌田伸一・杉之尾孝生・村井友秀・野中郁次郎・著
ノモンハン事件、ミッドウェー海戦、ガダルカナル作戦、インパール作戦、レイテ沖海戦、沖縄戦における日本軍の組織特性を分析、失敗の本質を指摘する。



『知性を磨く「スーパージェネラリスト」の時代』（光文社新書）田坂広志・著
なぜ、高学歴の人物が、深い知性を感じさせないのか？「4つの知性」とは？目の前の現実を変革する「知の力」＝「知性」を磨くための田坂流知性論。

三笠書房　千代田区飯田橋3-3-1
◎詳細は⇒http://www.mikasashobo.co.jp
◎(株)ブックライナー〈フリーダイヤル〉0120-398899(9:30～19:00)からもご購入いただけます。

知的生きかた文庫 30周年フェア絶賛開催中!!

最新刊＆ベストセラー

最新刊 幕末 明治 日本は外国人にどう見られていたか
来日外国人による「ニッポン仰天観察記」
「ニッポン再発見」倶楽部
ISBN978-4-8379-8294-4●定価(本体590円+税)

超訳 般若心経 15万部
“すべて”の悩みが小さく見えてくる
ほっと安らぐ一言、はっと気づかされる一句
境野勝悟
ISBN978-4-8379-8161-9●定価(本体571円+税)

超訳 孫子の兵法 11万部
「最後に勝つ人」の絶対ルール
東洋思想研究者 田口佳史
ISBN978-4-8379-8236-4●定価(本体571円+税)

「気の使い方」がうまい人 5刷
相手の心理を読む「絶対ルール」
山﨑武也
ISBN978-4-8379-2542-2●定価(本体1000円+税)

最新刊
ダイアー博士の世界的名著
自分のための人生
一日一日「自分を大事にして生きる」生活術
ウエイン・W・ダイアー 著
上智大学名誉教授 渡部昇一 訳・解説
ISBN978-4-8379-5753-9●定価(本体1100円+税)
全世界で3000万人以上を変えたベストセラー！これが《自己実現》のバイブル！

男の価値は〝ここ〟で決まる
「バカになれる男」の魅力
Yosuke Shionagi 潮凪洋介
ISBN978-4-8379-2550-7●定価(本体1000円+税)
仕事、金、女——図太く生きる知恵
「普通の人」から、ちょっと抜け出すだけで、男の人生は劇的に変わる!
たちまち/3刷

始めた人からみるみる変わる!
若返りホルモンDHEAが若さを決める!
40代からの「太らない体」のつくり方
医学博士 満尾 正
ISBN978-4-8379-2529-3
16万部!
結局、人生は「見た目」です!
1 何よりまず「野菜を食べる」
2 「1分間・120メートルの速さ」で歩く
3 「体の中の太るゴミ」を正しく出す
4 寝る前に「ストレスをゼロにする」
この4つだけでガラリと変わる!
\A5判 フルカラー/
定価:本体552円+税

各QRコードからすぐに!! 無料で!!「三笠書房BOOKSTORE」で立ち読みができます!! PC・スマホ・タブレット対応!! http://www.mikasabooks.jp